

(別紙5)

整理番号 2017P-012
補助事業名 平成29年度 自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業補助
事業
補助事業者名 公益財団法人 日本自転車競技連盟

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

高い競技レベルの大会を全国各地で開催し、自転車競技に関心を持つ人々の増大を図る共に、選手のみならずチーム、コーチ、審判員等の人材を育成することで、競技レベルの向上により国際大会参加者を輩出し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

1) 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部(高体連)事業

①全国高等学校選抜自転車競技大会

参加者数：男子132チーム 307名

女子 35チーム 50名

開催場所：福岡県・久留米競輪場/熊本県・山鹿市菊鹿町「あんずの丘」

大会期間：3月22日-3月25日

http://www.hs-cycling.com/senbatsu/2017/h29_senbatsu_index.html

(大会リザルト等)

<https://freshlive.tv/hs-cycling/>

(動画配信)

なお、LINE@でもコミュニケ配信をおこなった

②全国高等学校トラック合宿

(公財)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部ブロック合宿

参加者数：366名

開催場所：全国6地域

北海道・東北ブロック合宿(宮城県自転車競技場)

関東ブロック合宿(境川自転車競技場)

東海・北信越ブロック合宿(内灘競輪場)

近畿ブロック合宿(向日町競輪場)

中国・四国ブロック合宿(広島競輪場)

九州ブロック合宿(武雄競輪場)

(別紙5)

事業期間：8月4日から10日

(公財)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部全国合宿

参加者数：37名

開催場所：伊豆ペロドローム

事業期間：12月22日から26日

http://www.hs-cycling.com/jcf_junior/2017/menscamp/rp_2017_zenkoku_gasshuku.html

③2017年チョンジュMBC国際ジュニアロード派遣

大韓民国で開催予定であったが大会開催がなされなかったため中止

2) 日本学生自転車競技連盟事業 <http://jicf.info/>



インカレロード・優勝者ゴール



インカレトラック・団体追抜き優勝

2 予想される事業実施効果

1) 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部（高体連）事業

①全国高等学校選抜自転車競技大会

全国高等学校総合体育大会自転車競技（インターハイ）と並んで高体連の2大会として実施されています。高校生にとっては、この大会を目標として自転車競技に取り組み、将来的にはプロ選手、オリンピック選手、さらに大学での競技継続、生涯スポーツとしての競技継続を目指して自転車競技に携わっていく高校生が多くなり自転車競技の底上げが期待できる。また、高校生の女子選手にとっては唯一の公認全国大会であり、女子のジュニア層の向上並びに普及につながる事が期待できる。また、平成30年度よりは公開競技として実施していた全国高

校総体も正式競技化へとなりさらなる事業効果が期待できる。

②全国高等学校トラック合宿

全国を6つのブロックに分け実施されるブロック合宿は、全国高等学校総合体育大会自転車競技終了後を主としてこの次を担う1、2年生を対象として、実技や講演を通して自転車競技の基本的な内容を多く取り入れた合宿であり、ルールを理解、安全再認識を求めている。これによって、ルールの不理解、走行技量の不足による大会中の事故は大変減っています。また、将来自転車競技を継続していく上での基礎的な礎として、そして共に切磋琢磨する仲間を知ることのできる機会となっており、ここで技能、知識、なにより競技者、指導者同士のつながりが日本自転車競技の競技力向上に貢献することが期待できる。

全国合宿は、自転車競技界の次の世代を育成するための合宿であり、各ブロックより選出された選手を中心に実施される。この合宿を経験した選手の中より、全国大会で優勝及び入賞者を果たしています。また、将来的にも自転車競技を継続し、日本自転車競技の競技力向上に大きく貢献しています。

③2017年チョンジュMBC国際ジュニアロード派遣

海外での経験を積むために継続してきた事業であるが、平成29年度は大会開催がされなかった。今後も、海外遠征等を通じた競技力の向上を目指すことによりジュニア期から海外での競技の行い方を修得していくことが期待できる。

総括：

これらの事業を継続していくことで自転車競技におけるジュニア層の競技力の向上及びそれに伴う自転車競技に対する理解を深めること安全に競技に携わるために知識を高めていくことが期待されます。また、高体連の女子選手の競技者数も増加傾向であり、女子ジュニア層からの自転車競技者育成が今後の女子競技者力の向上、ひいてはその世代が次世代への保護者として継続的な自転車競技の啓蒙となっていくことが期待できます。継続的に競技力の向上、自転車競技の普及・啓蒙、自転車の安全活用へとつなげ、2020後のレガシーへと繋がっていくことが期待されます。

2) 日本学生自転車競技連盟事業

今後の自転車競技を担う世代である大学生選手に対して、競技面・運営面双方で高い水準の自転車競技大会を実施することで、U23層における競技力向上と自転車競技の普及拡大を進めることが予測されます。また、大学OBを中心とする学生連

(別紙5)

盟ならびに開催地域の自転車関係者・行政らとの連携を通して、競技の根幹となる大会運営を担う人材の育成を促進するとともに、地域における競技の普及振興に効果を与えられると考えられます。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

全国高等学校選抜自転車競技大会プログラム	1,000部
全国高等学校選抜自転車競技大会チラシ	15,000部
全国高等学校選抜自転車競技大会ポスター	1,000部
全国高等学校選抜自転車競技大会賞状	150部
全国高等学校選抜自転車競技大会報告書	300部
全国高等学校選抜自転車競技大会IDカード	1,000部
東全日本学生選手権トラック自転車競技大会プログラム	300部
全日本学生選手権トラック自転車競技大会プログラム	450部
全日本大学対抗選手権自転車競技大会プログラム	800部
全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル	300部
全日本学生選手権個人ロードレース大会プログラム	350部
全日本学生自転車競技トラック新人選東日本大会	250部

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人日本自転車競技連盟
(コウエキザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ)

住 所： 〒141-0021
東京都品川区上大崎3-3-1

代 表 者： 会長 石崎聖子 (イシザキセイコ)

担 当 者 名： 事務局次長 (ジムキョクジチョウ)
後藤 慶一郎 (ゴトウ ケイイチロウ)

電 話 番 号： 03-6277-2690

F A X： 03-6277-2691

E - m a i l： goto@jcf.or.jp

U R L： <http://jcf.or.jp/>